

山武市子ども・子育て会議（令和4年度第2回）要旨

日時:令和4年10月5日(水)10時00分～

場所:山武市役所 車庫棟 第6会議室

出席者:委員 14人/20人 事務局 12人

傍聴人:なし

進行:子育て支援課主幹

議事進行・会長

議事結果

(1)第2期山武市子ども・子育て支援事業計画の
中間年の見直しについて ……了承

敬称略

1. 開会〔進行〕

会議成立の報告〔進行〕

(委員20名中14名出席。会議条例第6条により、過半数を超えたので会議開催。)

2. あいさつ〔保健福祉部長〕

3. 議事〔会議条例により議事進行:会長〕

(1)協議事項

・第2期山武市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて

1～5について、資料に沿って説明〔子育て支援課〕

1 第2期山武市子ども・子育て支援事業計画について

2 中間年における計画の見直しについて

3 「教育・保育」の量の見込みの見直しについて

【別紙1(1)、別紙1(2)、子ども・子育て支援事業計画(P.47～49)参照】

4 「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込みの見直しについて

【別紙2、子ども・子育て支援事業計画(P.51～58)参照】

5 その他の見直しについて

(1)山武市総合計画の成果指標等の見直しについて

【別紙3、子ども・子育て支援事業計画(P26～P43)参照】

(2)その他事業等の見直しについて

3 「教育・保育」の量の見込みの見直しについての質問・意見

Q〔委員〕別紙1(1)のかい離率の変化について、26.0%から13.8%、7.5%、3.0%と、急激な減少傾向にあり、最終的にはマイナスに転じているのは、どういう背景があるのか。

A〔幼保こども園係長〕かい離率が年々下がっていく大きな要因としては、5歳未満の子どもの人口自体が急激に減少していること、また、別紙1(1)は主に幼稚園(短児部)に通う子どもの数になっており、ここ数年幼児教育無償化の影響もあり、保育園(長児部)に通わせることを希望する保護者が増えてきていることが考えられる。それから、女性の就職率や働き方として、預ける時間を増やせるならば、もう少し働きたいと考える保護者も増えているので、保育ニーズとして1号の幼稚園の利用ニーズが減少しており、2・3号の保育園の利用ニーズは現状のまま維持していく、もしくは増加していくと思われる。また、5歳未満の子どもの人口の減少率がかなり大きいいため、かい離率はどちらの区分も減少傾向になっていくことが考えられる。

Q〔委員〕別紙1(2)の計画と実績の見込みについて、それぞれ④と⑧の確保内容(利用定員)が、令和5年度と令和6年度の計画値は801人に対して、見込み値は781人と数値が変更になっているのは、どういう変化なのか。

A〔幼保こども園係長〕5歳未満の子どもの人口が減ってきていること、また実際3歳以上の子どもは、どこの園でも現在入園可能な状況になってきているので、規模の適正化を図っていくことも視野に入れて、このような数値を見込んでいる。

Q〔委員〕別紙1(1)の計画におけるニーズ率が、実際の実績(令和2年度、令和3年度)では9%→7%だったものが、見込み(令和4年度～6年度)では7%→7%→6%と減っていくという理解でよいか。

A〔幼保こども園係長〕以前は、1号認定(短児部)のうち一時預かりを利用し、更に1時間追加で時間外保育を利用する方が多かった。しかし、保護者の就労時間をもう1～2時間増やすことで、長児部の標準保育などが可能となることや保育料が無料のため、もっと働こうと思う保護者が増えたことで、短児部のニーズが減少し、長児部のニーズが増加傾向に変化してきたと考えられる。

Q〔委員〕別紙1(2)の⑧確保内容(利用定員)が801人から781人に変更されていることは、今回の見直しには含まれないのか。

A〔子育て支援課〕基準年が令和3年度であるため、今後変更する部分については、今回の見直しには含まれない。

4 「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込みの見直しについての質問・意見

Q〔委員〕別紙2について、新型コロナウイルス感染症等の影響により実績がかなり減ったが、この先また戻るという見通しを立てている事業について、基本的に令和3年度から令和4年度にかけてある程度増加した後、令和5年度以降は計画通りの数値に戻るという想定で見込みを立てているように読み込めたが、令和4年度の増加率をどのような根拠で算出したのか、また、令和5年度以降に計画通りの数値に戻るという判断は、どのような根拠があるのか。

A〔児童福祉係長〕全体的なこととして説明すると、新型コロナウイルス感染症等の影響で実績値は減っているが、平成30年度に実施した子育てに関するニーズ調査の要望等から算出した数値を用いて、第2期計画を作成しているため、要望等については変更なしとして、計画の数値は見直さないこととした。次のニーズ調査は、第3期計画のため来年度実施する予定だが、要望等については、それほど変わらないのではないかと考えている。

A〔幼保こども園係長〕(2)地域子育て支援拠点事業、(8)一時預かり事業、(9)延長(時間外)保育事業、(10)病児・病後児保育事業について説明する。今現在新型コロナウイルス感染症等に関する感染対策のため、利用人数を制限しているが、保護者からはもう少し利用したいという要望は根強くある。特に、地域子育て支援拠点事業については、少しずつ使い方・人数などについて見直しを行っている。また、令和2年度については、まだ感染者も多く、保護者の中には感染への恐怖心が強く、利用者が激減した。そのため、利用定員は変わらないが、利用者がとても少なかった。令和3年度から令和4年度にかけて、少しずつ利用者が増えてきている。ただ令和4年度については、上半期の利用実績をみて数値を算出したので、少し減少しているように思うが、感染状況がまた好転していくことで、より利用者は増加傾向に向かうのではないかと考えている。(8)一時預かり事業や(9)延長(時間外)保育事業についても同じようなことが言える。また、(10)病児・病後児保育事業については、新型コロナウイルス感染症等に関わる保育を今現在実施していない。また、保護者が少し体調を崩している、風邪は治ったが咳だけ長引いてしまっているなど、預けることに少し戸惑っていることで利用者が減ってきている。しかし、昨年から少しずつ通常勤務を目指す、または仕事を増やしていこうと考える保護者が増えてきているため、ニーズも戻ってきている。そのため、このままの数値として見込んでいる。

A〔健康支援課副主幹〕(1)利用者支援事業、(3)妊婦健康診査事業、(4)乳児家庭全戸訪問事業について説明。全体的に、新型コロナウイルス感染症等の影響を受けておらず、例年通りの相談件数を維持している。また、(3)妊婦健康診査事業については、必要な健診であることから、受診者も多い。(4)乳児家庭全戸訪問事業については、基本的には、対象者の家庭へ訪問する形だが、それが出来ない場合は、面談等を行い、大多数の方が受け入れてくれた。訪問・面談の際も、感染症対策をしっかり行い、対応することが出来た。特に(3)、(4)ともに新型コロナウイルス感染症等の影響を受けることはなかった。今後も計画通りの数値となることが見込まれる。

5 その他の見直しについての質問・意見

Q〔委員〕最終的に今回の計画の見直しでは、(11)放課後児童健全育成事業のみ、見直すということによろしいか。それ以外は見直さないということか。

A〔児童福祉係長〕今回の計画の見直しについては、(11)放課後児童健全育成事業のみ見直しという形になっている。その他については、総合計画による成果指標について、新たに策定され、成果指標自体も変更となるものがある。別紙3の成果指標等の見直しの中で、今現在山武市の次期総合計画の成果指標名が変更されるものとして案となっている。総合計画をもとに、子ども・子育て支援事業計画も作成されているため、総合計画の変更箇所については、こちらの計画についても見直しをする必要がある。次期総合計画については、現在調整中であるため、現状値及び目標値については、決まり次第報告する。

※第2期山武市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて

協議：賛成の場合、挙手

全員賛成（事務局案のとおり見直しを行う。）

○その他の質問・意見

Q〔委員〕他県で、通園バスの乗降の確認漏れで園児が死亡するという悲惨な事件があったが、山武市での対応や、日頃行っていることなどを教えてほしい。

A〔幼保こども園係長〕山武市では、現在通園バスを日常的に、日向幼稚園で4台、なるとうこども園・しらはらこども園で各1台ずつの計6台運行している。朝晩ともに、運転手の他に、必ず添乗員が乗って運行している。添乗員が乗車する子どもの数を確認してから、乗車させている。また、降車する際も、決まった場所で添乗員が降ろし、保護者に引き渡すといった形をとっている。各運行が終わったあとに、朝も夕方も新型コロナウイルス感染症等の感染対策のため、室内の消毒及び足元の清掃を行っている。子どもたちが乗車していないか、また、落とし物などがないか、必ず確認を行っているため、今のところ事故は起きてはいない。国からも安全装置の設置を義務付けるという動きもあるので、どのような安全装置をつけたらいいのかということも含めて検討している。事件を受けて、先月末2週間ほどかけて各園で、バスに閉じ込められてしまったとき、クラクションを鳴らすという練習を実施した。子どもたちも日常的に自分の家の車でもクラクションを鳴らすということはないので、実際にクラクションを押すことが出来るか、どうやったら鳴らすことが出来るかなどを確かめるために行った。

Q〔委員〕11歳以下の幼児を含めた新型コロナウイルスワクチン接種について、山武市の状況をお聞きしたい。

A〔健康支援課長〕11歳以下の場合、5歳から11歳以下までの数字になる。令和4年9月15日現在、2回目まで接種済の人数は771名で全体の37.3%。小児については、2回目までの接種しか出来なかったが、令和4年9月6日に法改正があり、3回目の接種が出来るようになった。3回目の接種については、前回の接種から5か月を経過した方に、順次案内を発送する予定である。

Q〔委員〕保育園や幼稚園などで、新型コロナウイルス感染症等で、欠席している子はどのくらいいるのか。

A〔幼保こども園係長〕市内の公立こども園・幼稚園の感染状況について、今年度の7月・8月に感染者数が多い時期があったが、現在のところは落ち着いてきている。本日時点で、園児5名が陽性となり、欠席している。一時期に比べると、とても少ない人数になっている。新型コロナウイルス感染症の陽性となった園児数は、今年度4月から現在までの総数で101名。感染者は、ほとんど7月～9月上旬までに集中していた。

4. その他〔子育て支援課〕

今後のスケジュールについて説明。

- ・11月下旬に、次期総合計画の現状値・目標値を含めた見直し案を書面にて報告。
- ・年内を目途に、パブリックコメントを実施。

会議終了